

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号  
特開2025-138296  
(P2025-138296A)

(43)公開日  
令和7年9月25日(2025. 9. 25)

(51)Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
E 0 4 B 1/58 (2006.01)	E 0 4 B 1/58 5 0 6 L	2 E 1 2 5
	E 0 4 B 1/58 5 0 6 N	
	E 0 4 B 1/58 G	
	E 0 4 B 1/58 Z	

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 15 頁)

(21)出願番号	特願2024-37308(P2024-37308)	(71)出願人	598015084
(22)出願日	令和6年3月11日(2024. 3. 11)		学校法人福岡大学
			福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
		(71)出願人	508214488
			九州第一工業株式会社
			福岡県福岡市西区小戸四丁目29番50号
		(71)出願人	000000446
			岡部株式会社
			東京都墨田区押上2丁目8番2号
		(74)代理人	100101557
			弁理士 萩原 康司
		(74)代理人	100096389
			弁理士 金本 哲男
		(74)代理人	100167634
			弁理士 扇田 尚紀
			最終頁に続く

(54)【発明の名称】 接続部材および木質構造

(57)【要約】

【課題】ボルトへのせん断力の集中を回避でき、かつ、木製部材の断面欠損をなるべく小さくできる接合金物と、それを用いた木質構造を提供する。

【解決手段】木質部材30同士、または、木質部材30と鋼部材またはコンクリート部材とを接続する接続部材2であって、木質部材30の側面に密着するプレート部分20と、プレート部分20から突起し、木質部材30の側面に形成された凹部32内に挿入される突起部分21を有する。突起部分21の表面が、凹部32の内面に接触しても良いし、突起部分21にキャップ部材60が取り付けられ、キャップ部材60の表面が凹部32の内面に接触しても良い。

【選択図】図3

